



# Team石川



小中一貫CSだより第70号 令和4年1月25日 文責:木村 傑  
めざす子ども像(15歳の姿):時と場に応じた挨拶・返事・言葉遣いができ、思いやりの心をもつ心生徒

年が明け令和4年がスタートしました。保護者・地域の皆様、学校関係者の皆様、今年もどうぞよろしくお願いいたします。考えてみますと、毎年迎える新年は同じようであっても決して同じではなく、その年限りの1年です。小学校、中学校ともに、心新たに充実した1年となるよう学校経営に努めて参りたいと考えておりますので、皆様の変わらぬご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 第2回小中合同校内研修会開催(報告)

1月13日(木)石川小学校にて小中合同校内研修会を開催いたしました。今回は外部講師をお招きして研修いたしました。‘保護者や地域からの要望等への対応’について青森県教育委員会作成の手引きをつかって、県教育庁教職員課の方と中南地域担当の弁護士の方に講義していただきました。近年一般に、社会生活の多様化に伴って、学校教育現場に保護者や地域の方から寄せられるご意見ご要望も多様化しているとの話を伺うことがあります。せつかくいただいたご意見ご要望への対応について、



誤解や行き違いなどがあってもいけないため、石川学区としても機会をつくって研修し教職員のスキルアップにつながることを願っての研修会となりました。

青森県では、今年度から学校等における法務相談体制整備事業を開始しています。弁護士をスクールロイヤーに委嘱し、必要な助言等を得ながら、保護者や地域と協働して子どもたちの健やかな学習環境を構築するための一助になることをねらっているものです。そのため必要な相談を、弘前市教育委員会を通じて申し入れることが可能であるとのこと。今回の研修により、今後、学校として改めて意識し誠意をもって対応すべきこととお知らせいたします。

- 信頼関係の構築を徹底し信頼関係をこそ最も大切な基盤といたします。
- 初期対応が最も重要な対応であるということを念頭におきます。
  - ・傾聴の姿勢で、話をじっくりと聴きます。
  - ・受容し共感的な姿勢で聴きます。
  - ・必要に応じてメモを取りながら話を整理します。
  - ・ご意見ご要望の核心を確認し把握します。
  - ・対応の可否について、必要に応じて校内で検討し回答することを約束します。
- 必要に応じて二次対応及び外部との連携を視野に進めます。

## 3学期スタート～気持ちのよい挨拶から～

1月18日（火）から1月20日（木）までの3日間、今年度最後のあいさつ運動が行われました。新型コロナウイルス感染症の急拡大により、当初参加予定だった保護者や地域、JUMPチームを除き、小学校と中学校の教職員に絞って縮小した形での実施となりました。それでも、雪の降る中、または晴れ間がのぞく中、心地よい挨拶を交わしながら3学期をスタートさせることができよかったですと感じています。



## 新型コロナウイルス感染症対策に係る現在の対応

現在、新型コロナウイルス感染症が急拡大し、青森県内は過去最多の感染者数となっております。併せて弘前保健所管内も過去最多となっており、拡大防止のための対応について、1月18日（火）弘前市長が発表いたしました。続いて、1月19日（水）弘前市教育委員会からも通知がありましたのでお知らせいたします。次の三点についてご確認いただき、どうぞ地域ぐるみでの周知方お願いいたします。

弘前市教育委員会

1月20日（木）から2月28日（月）までの間、学校等における対応を強化する。

### 1 本人や同居家族に風邪症状がみられる場合に休ませることの徹底

児童生徒本人及び教職員本人やその同居家族に風邪症状がみられる場合、家族の職場で陽性者が発生している場合など、新型コロナウイルス感染症の感染に不安がある場合には、引き続き、登校、出勤を控えさせる。

### 2 学校行事等の中止・延期

校外学習、外部講師を招いた学習、PTA行事など、学校行事等は中止又は延期とする。

### 3 部活動の禁止

運動部、文化部の活動は禁止とする。ただし、中学校体育連盟等が主催又は共催する大会に限り参加できるものとする。

スポーツ少年団の活動など児童が主体となった活動は禁止とする。

学校開放事業は中止とする。

※ 児童が市外の大会に参加を希望する場合は、小学校から市教育委員会へ要項等により情報提供する。

## お知らせ

### 【新校舎建設に係るワークショップ】

前号でお知らせしていたワークショップについて、1月20日（木）に予定していたところ、上記のとおり学校行事が中止とな



ったため見合わせることにいたしました。子どもたちは自分の意見をまとめたワークシートを作成しているので、今後、どのような形で生かすことができるかについて担当の学校整備課と検討し、機会を捉え改めてお知らせしたいと考えています。

※写真：ワークショップ開催に向け学校整備課による小・中学校への説明の様子(12月)

